

J AIPA

Express

Vol.50
January 2019

CONTENTS

ご挨拶

レポート

第50回 ISP&クラウド事業者の集い in 京都

事務局通信

会員紹介

行事一覧

役員一覧

会員一覧

全国プロバイダー一覧

People,people

みなさま、新年明けましておめでとうございます。

2018年は皆様にとってどのような年でありましたでしょうか？私が考えるに2018年という年を一言でいうと「変革の始まり」の年だったと思います。昨年起こった契機を如何に形にするか。今後のビジネスを作っていく大きなポイントになるのではないかと考えています。それほど2018年は過去にあまり例を見ないエポックな年であったと思います。

例えば皆さんの「大好き^^」なNTTフレッツネクストにおいてもPPPoE方式ではNTEのD型の接続が始まり、IPoE方式もGWRは東京以外でも単県POI接続が始まりました。それぞれの評価はさておき、これらは増大するコンテンツ・トラフィックやデバイスの変化がもたらしたものであります。今後のアプリケーションによってパケット通信の要求事項（遅延、ゆらぎ、パケットサイズなど）も変化し、ますますIPv6シフトも進むでしょう。このような事業環境の変化に如何に対峙するか？本当に悩みどころが多く見えます。ただ一つだけ言えることは過去に戻ることは出来ないということです。ですから今後JAIPAでは「昔はよかった」はNGワードにしませんか？と思う次第です。

という普通のご挨拶はさておき、実は今回「JAIPA会報誌の巻頭挨拶」の依頼を事務局の平さんから受け取った時「うわ何を書こうか！テーマ難しい！」と正直悩みました。しかも2019年年頭の号。格式高いJAIPA会報誌の巻頭挨拶なんぞ私のような新米理事が恐れ多い！というのが最初に去来した思いです。しかしながら何か考えないといけないので、思い浮かんだキーワードがこちら。

●GAFAsの今後と中国の台頭

●5G/IoTって？

●経路制御とインターネットトラフィック
などが私に求められるところでしょうか？

●日本と海外のインターネット

●クラウドとエッジコンピューティングの未来

ただ全部書いていると平さんリクエストの「2000字程度」を軽くこえてしまいますので一つに絞りたいと思います。残りは今年の沖縄ICTフォーラムでの飲み会ネタに残しておきたいと思います（笑）。一つに絞るとしたら矢張り一番上の「GAFAsの今後と中国の台頭」ですかね？

みなさんGAFAsGAFAs!と騒いでいますが実際のトラフィックはどのようなのでしょうか？日本でのEyeball向けコンテンツ・トラフィックランキングは

1位：AS15169 Google

2位：AS20940 Akamai International

3位：AS6185 Apple

4位：AS16509 Amazon.com

5位：AS32934 Facebook

となります（ある日のBBIX調べ）。さすがGAFAsはちゃんとTop10に入っています。日本のコンテンツで続くのは

11位：AS38634 DWANGO

14位：AS23816 Yahoo! Japan

となります。日本国内なのでこれら日本コンテンツがもう少し上位にいてもおかしくないと思いますが実際はGAFAs+CDNで約65%を占めており特にGoogleは30-35%と非常に大きなボリュームとなっています。ただし海外CDNの中に日本のコンテンツが多く入っていると推測されます。

では、このGAFAs優位の時代がいつまでも続くのでしょうか？

この質問をこの業界関係者からよく受けますが私の答えは「GAFAsにも将来必ず優勝劣敗がはっきりしてくる。」と答えています。またGAFAsを追う新たなプレーヤも出てくると思います。Netflixは「GAFAs入り」こそしておりませんが米国ではGoogleよりトラフィックが多いと聞きます。このランキングにはありませんがSalesforceなども続くと言われていて。そして忘れてはいけないのがMicrosoftの存在です。トラフィックではしっかり10位にランクインしており彼らはWindowsやOffice等のパッケージ売りからインターネット上のサブスクリプションモデルへと見事に変貌を遂げていると言えるでしょう。

ここに割って入ろうと頑張っているのが中国のコンテンツ事業者です。いわゆるBAT(Baidu, Alibaba, Tencent)と言われるプレイヤーです。2018年初頭に深センを訪問しBaiduとTencentのオフィスに伺いましたが彼らに共通しているのは非常に若い「優秀そうな」スタッフが溢れており、皆エネルギーに溢れていることです。「これは近い将来米国を抜くのでは」とさえ思ったほどです。中国企業は巨大なネット人口を下支えに一定の監察・保護の下、急成長を遂げています。ただし最近では中国ベンダーを取り巻く不穏な動きもあり今後の動向に予断を許さない状況となっています。

繰り返しますが、今後このようなGAFAsやBATメンバーでも必ず入れ替えが発生し「優勝劣敗がはっきりする」と申し上げています。理由はその企業に「独自のPhilosophyがしっかりあるかどうか。それが末端まで浸透しているか。」だと考えます。私は多くのコンテンツ事業者と交流しておりますが上記企業でもPhilosophyが危ういなと思う企業もあります。逆に流石だと思う企業はPhilosophyがしっかり浸透しています。

インターネットは「自立・分散・協調」が重要であるというのはJAIPA創設以来言われていることであり特に「協調」は近年増々重要になっていると思います。インターネットは互いのビジネスを理解し、相互接続しているモデルで成り立っているもので互いのRespectなしには存在しえません。もう少し言うとRespectから始まっていると申し上げても過言ではないと思います。

巨大なGAFAsでもこの「互いのRespect」が無くなってくると早晩衰退していくと思われまじし、そういったことはサービス自身にも影響が出るため多くの聡明なユーザはすぐに離れていってしまうでしょう。

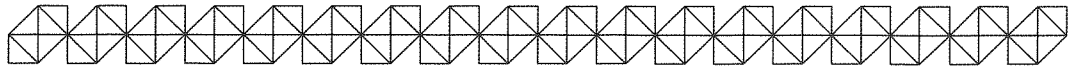
冒頭申し上げた2018年に始まった事業環境変化と、こういった巨大コンテンツ事業者の変化をしっかりと見ながら我々はビジネスをしなければなりません。それだけでなく実は最初に上げたキーワードすべてが重要なエッセンスになると見えています。でも逆に考えるととても楽しいビジネスではありませんか？楽しくするために必要な魔法の言葉は一つで「未来志向で行こう！」だと考えています。今後のインターネットのあり方を想像しつつ、そして未来のJAIPAを築いていかなければなりません。みんなで頑張っていこうではありませんか！私も誠に微力ながらその一端を担いたい、頑張っていきたいと思う所存です。

2019年の初頭の挨拶らしく未来志向で書いてみました。

では、みなさま、今年も沖縄でお会いしましょう。そして未来を語りましょう！

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
理事 福智 道一
(BBIX株式会社)





第50回ISP & クラウド事業者の集いin京都 開催報告書

日にち：2018年10月11日（木）～12日（金）
場 所：京都市サーチパーク（KRP）東地区 1号館
サイエンスホール
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

参加者：163名

プログラム：

■10月11日（木）

- 10:00～ 受付開始
- 10:30～11:15 「接続料の算定に関する研究会」関係する最近の議論について
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 料金サービス課
課長補佐 大磯 一氏
- 11:15～12:00 「IPoE方式とVNEの役割」
NGN IPoE協議会 会長 石田慶樹氏
- 12:00～13:30 昼食休憩
- 13:30～14:30 「今年の電気通信事業法改正と通信の秘密のガイドライン、違法有害情報対策、プロ責法対応の最近の動向」
JAIPA会長補佐 木村 孝氏
- 14:30～14:50 18年ぶりの日本開催、ICANN64神戸会議へのお誘い
ICANN64ローカルホスト委員会
一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）
インターネット推進部 部長 前村昌紀氏
- 14:50～15:00 休憩
- 15:00～15:50 インターネットを取り巻く世界の状況について
Jia Rong Low
ICANN Vice President, Stakeholder Engagement & Managing Director-Asia Pacific
- 15:50～16:35 電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証」について
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部
データ通信課長 山路栄作氏
- 16:35～16:45 休憩
- 16:45～18:30 1994年からのインターネットを振り返る
パネルディスカッション
「集い50回を迎えて一過去・現在・未来」
パネリスト：BizMobile 小畑至弘氏

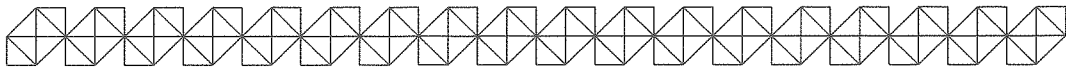
JPNIC 前村昌紀氏
さくらインターネット 田中邦裕氏
ソピアフォンス 田口伸一氏
JAIPA 立石聡明副会長

モデレータ：JAIPA事務局長 亀田武嗣氏

19:00～21:00 懇親会 アトリウム

■10月12日（金）

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～10:40 「電気通信事業分野に係る消費者保護の取組について
—平成29年度消費者保護ルール実施状況のモニタリングの結果等—」
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部
消費者行政第一課 消費者行政調整官 東 政幸氏
- 10:40～11:25 海賊版サイト対策ブロッキングの現状
JAIPA副会長 立石聡明氏
- 11:30～13:30 通信と放送の融合：放送同時配信～通信事業者ができること～
パネリスト：株式会社ワイズメディア 塚本幹夫氏
株式会社シナプス 中野 龍氏
JAIPA副会長 立石聡明氏
モデレータ：株式会社Jストリーム 鍋島公章氏
- 13:30～15:00 昼食休憩+次の会場に移動
- 15:10～18:20 「情報化月間協賛・京都情報化セミナー」
場所：京都コンピュータ学院駅前校 6階ホール
〒601-8407 京都市南区西九条寺ノ前町10-5
https://www.kcg.ac.jp/access.html#kyoto_ekimae
参加定員：300名
参加費：無料
主催：一般社団法人京都府情報産業協会
共催：京都府中小企業技術センター
京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院
Ksisnet（京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク）
京都コンピューターシステム事業協同組合
後援：京都府、京都市、公益財団法人京都産業21、公益財団法人京都高度技術研究所、京都商工会議所、ITコンソーシアム京都、一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会



■概要

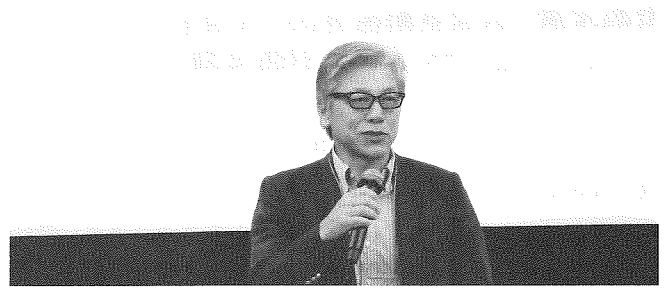
今回で50回目を迎えた「集い」ですが、50回というと切りが良い数字は記念すべき集いにしようと言う流れは出てくるもので、そうしたらどこで開催が良いのだろうか?となり、今までで開催してきた場所はそれぞれ思い出に残る場所だったし、まだ開催していないところが良いのでは無いか、やはりホストがいるところが等、とても悩みなかなか決まりました。結局、なにかに引きずられ京都になったのですが、今回は前日のセミナーや途中移動もあり参加者には、戸惑いの集いだったかもしれません。

さて集いは10月11日(木)12日(金)の開催だったわけですが、前の日にIGF-Japanとの共催で「海賊版サイトブロッキングについて考えるシンポジウム～ISPは著作権侵害における加害者か～」として開催しました。4月の政府「海賊版サイト対策」が発表され、通信事業者を始め関係方面に大きな波紋が広がりました。その前の週の4月6日:毎日新聞が第一報「政府が近々海賊版サイト対策を発表予定」を掲載したため、各団体が一斉に反対声明を表明。当協会からはこちらを出しました。

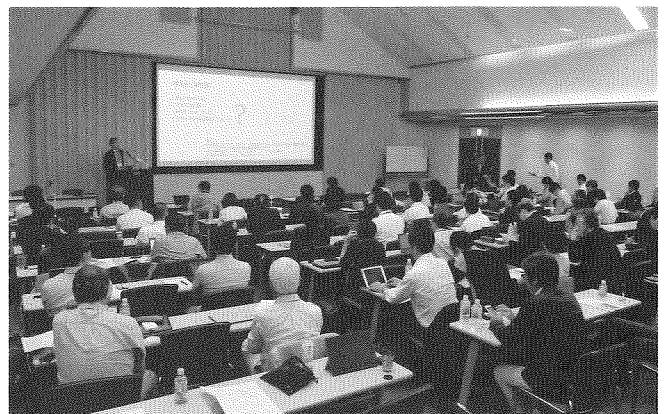
<https://www.jaipa.or.jp/information/docs/180412-l.pdf>

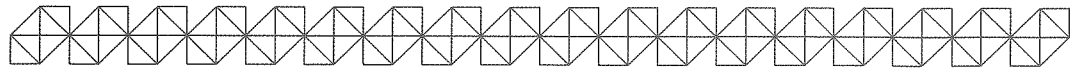
翌週の13日には犯罪対策閣僚会議「海賊版サイト対策」を発表。「ブロッキングの要請」はしなかったものの、政府がここまで踏み込んだ発表をすることについては、各方面から様々な反応が沸き起こりました。その後、知財戦略本部にタスクフォースが設置され議論されておりますが、このときまでは目処がついていない状況でした。このシンポジウムでは、知財戦略本部のタスクフォースでどのような議論があったか、そしてこれまでの議論における問題点や検討課題などについて関係者から解説とパネルディスカッションを開催しました。東京大学宍戸先生、金沢大学長瀬先生、京都大学曾我部先生によるご講演と、ライトニングトークは7名、そのあと、曾我部先生がモデレータ、パネラーは今回参加された方全員でした。それぞれが違う方面からの切り口で詳しくお話し、問題提起をしていただき、会場からの質問も交えて活発に意見交換が出来ました。反対派、賛成派と別れている言い方をしていましたが、平行線は続くような感じでした。このシンポジウムのプログラムについては、<https://www.jaipa.or.jp/topics/2018/10/isp.php>をご覧ください。末尾にも掲載いたします。

集い1日目は、総務省料金サービス課 大磯課長補佐の「接続料の算定に関する研究会」に関係する最近の議論についてお話しいただきました。2017年3月から第1回が始まり、9月に第一次報告書を公表、NTT東西社に対し要請もかかりました、それ以降フォローアップのため6回の研究会を実



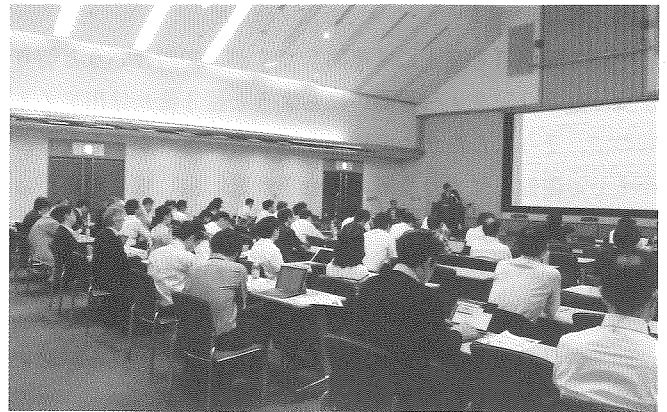
施し、・NGNのISP接続(PPPoEとIPoE)、・県間通信用設備、・光ファイバの取扱い(耐用年数等)の当面の方向性が確定したことをはじめ、改善や見直し等がされました。そして2018年9月には第二次報告書の取りまとめがされました。それまでにかかった意見募集関係を中心に何が課題で、いまどういう議論がされているのか等を分かり易くご説明いただきました。会場からもISPの現状等含めた課題や質問がされ、活発な意見交換がなされました。今後更に研究会を開催し来年の夏には、第三次報告書を作成する予定だそうです。次にNGN IPoE協議会の石田会長より「IPoE方式とVNEの役割」をお話しいただきました。午前中のセッションはISPにとって日々の運用に係わることで、多くの方々に参加いただきました。今回は、会場周辺の飲食店のリサーチが出来ておらずあまりお店がなさそうだったので、1時間半ほど昼食休憩の時間を取りました。午後はさらに日々運用に大切な「今年の電気通信事業法改正と通信の秘密のガイドライン、違法有害情報対策、プロ責法対応の最近の動向」、トピックスでんこ盛りで、JAIPA会長補佐の木村さん(ニフティ)にご講演いただきました。電気通信事業法改正については、ISP業務には欠かせない法律で、それにより日々の運営対応が係わってきます。木村さんは総務省や他団体への会議参加が多く、毎月行政法律部会でそれぞれの会議内容について説明していただいておりますが、この集いで総集編のご説明をしていただきました。



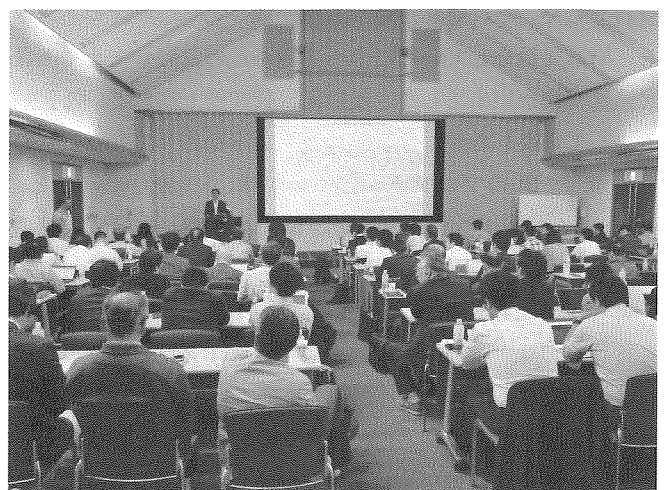


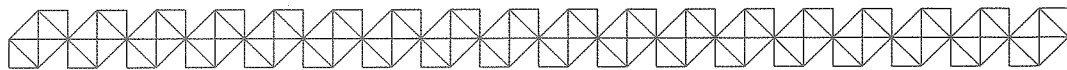
今回ICANN Vice President Jia Rong Lowが来日にされたことに関連し、この機会においでいただき「インターネットを取り巻く世界状況について」としてご講演いただきました。ICANNの活動を主にお話しいただき、18年ぶりにICANNが日本（神戸）で行われるので、ローカルホスト委員（JPNIC）前村さんにも神戸でのICANNをどう運営するのか等伺いました。次は、総務省が電気通信事業分野における競争ルール等の包括的検証に係る主な検討課題として取り上げた7つの検証についての取組を総務省データ通信課山路課長にご説明いただきました。「ネットワークの中立性」や「消費者保護ルールの検証」等、継続的なものも多々有り、当協会としても注視していかなくてはならないものが多いと感じました。次に本日最後のセッションです。集い50回を迎え当協会もそろそろ20年。そこで、「1994年からのインターネットを振り返る・集い50回を迎えて—過去・現在・未来—」として、協会立ち上げの前身である地域プロバイダー協会立ち上げメンバーを中心に亀田事務局長がモデレータをするパネルディスカッションをしました。1993年の時にパネラー達が何をして、どうしてこの世界に入ったのか。つまりISPをすることになったのか。ダイヤルアップの時代から今日まで、この壇上にいる方々は激動のインターネット業界を生き抜いてこられました。ISPも大小様々ですがいまここにISP事業をしている方々の楽しい時期、苦しい時期、怒りの時期を拝聴することが出来ました。会場で聞いている方々も共感するところもあったかと思えます。懐かしいパネルディスカッションとなりました。

2日目（12日）は、「電気通信事業分野に係る消費者保護の取組について —平成29年度消費者保護ルール実施状況のモニタリングの結果等—」として総務省消費者行政課東調査官にご講演いただきました。総務省の「ICTサービス安心・安全研究会」の下に消費者関係の研究会やWGが複数立ち上



がっており、これもその一つです。消費者対応として細かいことが多く、煩雑です。当協会ではインターネットユーザー部会の毎月の会議でそれぞれの事業者の対応やここでしか話せないことなどを情報共有しています。ぜひ、この機会にインターネットユーザー部会に参加していただければ幸いです。次に、間際までプログラムが埋まらなかったこの時間、結局前日に立石副会長にお願いして、「海賊版サイト対策ブロッキング」についての現状をお話しいただくことが出来ました。前日までプログラムが決まらないなんて、初めてのことでした。いくつもネタを持っている立石さんに助けられました。集い最後は、「通信と放送の融合：放送同時配信～通信事業者ができること～」のパネルディスカッションです。「放送コンテンツのIP再送信」についての放送局側の意見が多く出ている中、総務省も利用者が快適に利用出来るような措置をするとのこと、通信側としてどのように考えているのか、地方のISPについても現状どのように考えているのか、地域のユーザーにはニーズがあるのか等、様々な方向から意見交換がされました。先日発足した「放送コンテンツ配信連絡協議会」に参画し始めました。これから通信と放送の融合が快適に行くのか、まだ課題は多いようです。





集いはこのパネルを持って終了です。昼食休憩と移動時間を設けて「情報化月間協賛・京都情報化セミナー」へと移動しました。あまりにも人が多かったので、こちら側の参加者が何名なのかわかりませんが、夕方の懇親会で再度集まる形になりました。ということでいつもの集いと違った形になりましたが、集いは164名（内10日のみ30名）と多くの方々に参加いただきました。51回目はどこになるかわかりません

が、いつもの「集い」らしいイベントにしたいと思います。ぜひ皆様にもプログラム作りに参加していただきたく、よろしくお願いたします。(M)

アンケートについては、こちらをご覧ください。

https://www.jaipa.or.jp/report/quest/docs/ispcloud_kyoto_an.pdf

【付 録】

海賊版サイトブロッキングについて考えるシンポジウム ～ISPは著作権侵害における加害者か？～

日時：2018年10月10日（水）13：00～18：00（12：30開場）

場所：京都コンピュータ学院駅前校 6階ホール

京都市南区西九条寺ノ前町10-5

主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

共催：IGF-Japan

後援：一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会（ICSA）

一般財団法人情報法制研究所（JILIS）

プログラム：

13:10～14:40 講演

- (1) 東京大学 宍戸常寿（ビデオレター）
- (2) 金沢大学 長瀬貴志
—これまでのブロッキングに関する議論と児童ポルノサイトブロッキングについて
- (3) 京都大学 曾我部真裕
—海賊版ブロッキングについて 経緯と課題

14:40～14:50 休憩

14:50～16:30 ライトニングトーク 1人10分程度

法的問題点や解決策など多方面の講師による様々な論点に関する講演

- ・鍋島公章 -海賊版サイト問題、CDN事業者からの視点
- ・森 亮二 -ブロッキングの法制化には違憲の疑いが強いこと
- ・上沼紫野 -著作権保護の手段としてのブロッキングに対する疑問点
- ・中澤佑一 -請求者側から見たプロ責実務&NTTブロッキング訴訟報告
- ・吉田 奨 -民間協力のあり方
- ・立石聡明 -海賊版対策タスクフォースの現状と課題
- ・田中邦裕（リモート）

16:30～16:45 休憩

16:45～18:00 「海賊版サイト対策はどうあるべきか」

モデレータ：曾我部真裕

パネリスト：長瀬貴志

他上記ライトニングトークメンバー



最近 ラジオ 聴いてますか？

インターネットが普及し始めた頃、インターネットはテレビ、新聞、雑誌、ラジオに続く第五のマスメディアになると言われていました。そして2018年、インターネットは既存4メディアを追い抜き、トップマスメディアになったといっても良いでしょう。

第五のマスメディアという言葉が頻繁に飛び交っていた頃、それに対して既存4マスメディアはどうなるのか？という議論もよくしていました。新聞は必要なくなるのか？雑誌は売れなくなるのか？テレビは？ラジオは？ライバル関係である5つのマスメディアが将来どうなるのか？

そしてその後メディアの融合という言葉がちよくちよく出てくるようになりました。テレビ局がインターネットサービスを始める、新聞雑誌もインターネットで閲覧できるようになる。そんな時代になってきたわけです。

広告出稿量という指標で考えると5つのマスメディアはライバル関係なのでしょう。しかし利用者にとってはどうでもいいわけで、自分が利用しやすいかどうか？楽しいかどうか？知りたい情報が入手できるか？ですね。

radikoの登場

インターネットと一番親和性のあるメディアはラジオじゃないかと以前から言われていました。2010年インターネットでラジオが聴けるradikoがサービスを開始しました。しかしこれはあくまでも受信障害対策として提供するサービスという意味合いが強かったと思います。

しかし2014年4月からサービスが開始されたradiko.jpプレミアムにより、新しいラジオの時代が始まりました。有料サービス(月額350円)により日本全国のラジオが聴取可能になったのです。このサービスが開始された当初は、関東キー局のラジオ番組を地方の人が聴ける「サービス」という事でしたが、実は東京に住んでいても、地方のラジオが聴けるサービスである事がサービスの価値としては大きいものだったのです。

(ラジコプレミアム会員は約50万人)

地方のラジオ番組

在阪のラジオ局を中心に吉本や松竹の芸人さんがラジオパーソナリティを勤めている番組が非常に多く、東京ではそれらが幻のラジオ番組だったわけです。それがradiko.jpプレミアムにより聴けるようになりました。

このメリットで有料サービスを利用するリスナーは多く存

在します。また全国各地で有名ご当地パーソナリティの番組を聴くことも可能になりました。爆笑問題の太田光がラジオの地方局マニアなのは有名ですが、全く縁もゆかりも無い地方のラジオを聴く楽しみにはまったリスナーが密かに増えているのです。

全国ネットのラジオ番組や東京キー局のラジオ番組では言えない事、取り扱わない事柄でも、地方のラジオ局だと平気で喋れるのが地方ラジオの魅力だったのですが、これに関しては、radiko.jpプレミアムの登場により全国でも聴ける時代になり、それにより自然と自粛方向に向かってしまうのかなと心配しています。

プロ野球ファンの楽しみ

北海道ではHBCラジオとSTBラジオ

東北では宮城県のTBCラジオ

愛知ではCBCラジオと東海ラジオ

大阪はCBCラジオ、ABCラジオ、OBCラジオ

広島ではRCCラジオ

福岡ではKBCラジオとRKBラジオ

これらの地方ラジオ局は地元プロ野球球団を抱えている地域です。この6エリアのラジオが日本全国で聴けるのは野球ファンにとってもありがたいことなのです。

各地元以外に住んでいるファンにとっては本当に助かります。衛星放送、インターネットで野球中継を観ることはできるのですが、シーズンオフの時期、球団と選手情報は地元のラジオが圧倒的な情報量なのです。

たとえば2018年10月～2019年3月のシーズンオフですと

北海道日本ハムファイターズ

HBCラジオ 月～金 ファイターズDEナイト!! 60分枠

日 ガンちゃんの世界一面白いプロ野球の

番組 90分枠

STBラジオ 火～金 GO!GO!ファイターズ 65分枠

その他ファイターズ選手OBの番組として

建山義紀の「ほな、ウチおいで!」 HBC 60分枠

「金子誠の週間マック」 三角山放送局 45分枠

中日ドラゴンズ

CBCラジオ 火～金 ドラ魂KING 60分枠



土 若狭敬一のスポ音 235分枠
東海ラジオ 月～金 ドラヂカラ!! 75分枠

その他ドラゴンズOBの番組として板東サンデー CBC60分枠が放送されていますが、この番組、野球ファンにはかなりのお勧めです。(聴けばわかります)

その他の地域でも阪神タイガース情報なら、MBSベースボールパークが大阪のMBSラジオで土曜と日曜各120分放送されている他に、ABCラジオ他でもラジオ番組の中に阪神OBが担当する阪神に関する情報(オリックスの情報も少し…)のコーナーが点在しています。

広島はアンガールズのカーティスト RCCラジオ30分枠を始め、カープOB安仁屋宗八がパーソナリティを担当する午前中のワイド番組内の「安仁屋宗八の直球勝負」が人気となっています。

福岡では 鬼スポ花の応援団! 火～木150分枠があり、それに加えてホークス花の応援団! が日曜120分枠で放送されています。

ファイターズの母とホークスの応援団長

北海道HBCラジオの斎藤こずゑ と 福岡RKBラジオの鬼橋美智子

ファイターズと言ったら斎藤こずゑ、ホークスと言ったら鬼橋美智子。このお二人の番組は地元球団とラジオの関係は、こうあって欲しい、こうだったら嬉しいなの見本でしょう。

シーズンオフには選手達がそんなラジオ番組に出演して意外な話をしてくれます。これも地元球団のあるラジオ局を聴く大きな楽しみなのです。

お二人ともそれぞれの地元ファイターズとホークスが大好きなのはもちろん、プロ野球を好きなのが聴いていて心地よい理由だと思います。勝っても負けても応援する、FAやトレードで去って行く選手への思いやり、そして新入団選手の良さを引き出すインタビュー等々。批判や批評は解説者に任せて、とにかく応援するスタンスを貫いています。

こういう番組が地元にある球団はうらやましいなあと、関東フランチイズ球団ファンは思うでしょう。千葉や所沢、そして東京と横浜にはここまで球団に密着したラジオ番組が存在しないのが残念です。

インターネットのおかげで自宅であらゆる映像コンテンツが観られる時代になりました。ラジオってどうやって聴くん

ですか?と聞いてくる世代が増えている時代です。

そんな時代になったのですが、ラジオの喋り手と聴き手の密な関係性となんとなくリラックスできる感じは、他のメディアでは味わえないものです。

深夜放送を夢中で聴いて学校を遅刻していた世代です。

お小遣いを貯めてラジカセを買い、ラジオ番組を録音して繰り返し聴いていた世代です。

あの頃のラジオは面白かったのではなく、今でもラジオは面白いのです。

テレビもいいけど、YouTubeも面白いけど、

DAZNもNetflixもHuluもいいけど、

ほんと ラジオ 面白いですから(^^) /

※補足

radiko.jp (ラジコ) radiko.jpプレミアム以前にはポッドキャストによる番組配信を多くのラジオ局が実施していましたが、2017年1月から TBSラジオを中心にラジオ番組配信サービス ラジオクラウドが開始されました。ポッドキャストはコストがかかる割に収益モデルが成立しなかったという理由らしいのですが、ラジオクラウドはまだTBSラジオとその系列局の番組が中心です。

【報道資料】

■電気通信事業者におけるサイバー攻撃等への対処と通信の秘密に関するガイドラインの改定について

2018年11月30日に、インターネットの安定的な運用に関する協議会において、「電気通信事業者におけるサイバー攻撃等への対処と通信の秘密に関するガイドラインの改定について」の報道発表を行いました。

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2018/11/post-16.php>

【意見書提出】

■「平成30年度携帯電話及び全国BWAに係る電波の利用状況調査の評価結果(案)に対する意見募集」に関する意見書を提出(2018/10/1)

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_20181001.pdf

■「ネットワーク中立性に関する研究会の開催及び提案募集の実施」に関する意見書を提出(2018/10/22)

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_20181022.pdf

株式会社 クロストラスト

この度、日本インターネットプロバイダー協会に新規入会いたしました、株式会社クロストラスト、取締役・広報担当の福永と申します。

当社は、通信の暗号化や企業の実在を証明するSSL/TLSサーバー証明書の発行事業を手がけており、インターネットでサイト運営を行う企業様に安全で信頼性の高い電子認証サービスの提供をしております。2004年に電子認証事業を開始し、これまで各種情報セキュリティサービス・製品の販売と、インターネット接続されたサーバの運用管理に関わるサービス・製品を提供して参りましたが、2018年8月に株式会社Eストアー子会社への事業譲渡により株式会社クロストラストとして再スタートいたしました。

再スタートに伴い、クロストラストの一員として私もSSL事業に携わることになりましたが、元々はWebデザイナーだったので「サイトをSSL化する」ことはあっても、SSLについての知識はないに等しい状況でした。そこから日々、SSLの重要性を知っていく中、SSL化されていないサイトがまだまだ世の中に山のようにある現状や、今後の検索エンジンへの影響を考えた時、SSL事業会社としての責務は「公正なる第三者機関として証明書を発行する」だけではなく、SSLの重要性を世の中に伝え、認識をしていただき、SSL化を促していく取り組みが必要だと思っています。また、証明書の発行事業だけに留まらず、幅広い視野で新たなセキュリティサービスを展開していきたいと考えております。

今回の入会をきっかけにビジネスの出会い・皆様との交流を通して、クラウドおよびインターネット業界の成長・発展に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ

株式会社クロストラスト

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西4-1-2 武田りそなビル

電話：0120-979-717

Email：pr@xtrust.jp



株式会社 ビックベースソリューションズ

株式会社ビックベースソリューションズは、ビッグデータ活用で成長が見込まれるマーケティング領域でのソリューションを強化するため設立したデータマネジメント専門企業です。

このたび一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）のご承認を得て、入会いたしました。

特にクラウドサービスまたはSaaSを展開されている会員の皆様と、ネットワークセキュリティなどに関する情報についての意見交換などができればと思っています。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

社名：株式会社ビックベースソリューションズ

住所：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ15F

設立：平成16年5月25日

事業内容：顧客情報などのデータマネジメント支援

URL：<http://www.privacy.co.jp/>

プライバシーマーク認定番号：第17001656号



行事一覧

10月

- 3日(水) クラウド部会
- 5日(金) 女性部会in広島
- 9日(火) 行政法律部会
- 10日(水) 海賊版ブロッキング関係セミナー
- 11日(木)~12日(金)
ISP&クラウド事業者の集いin京都
- 22日(月) モバイル部会
- 23日(火) 2018年度第2回理事会
- 25日(木) インターネットユーザー部会



10月11日~12日
ISP&クラウドの集い in 京都

11月

- 5日(月) セカンドライフ勉強会：女性部会
- 6日(火) 行政法律部会
- 7日(水) クラウド部会
- 20日(火) 運営委員会
- 21日(水) 地域ISP部会
- 27日(火) インターネットユーザー部会



11月5日
セカンドライフ勉強会

12月

- 3日(月) エグゼクティブトーク&クリスマスパーティ
- 4日(火) 行政法律部会
- 5日(水) クラウド部会
- 14日(金) モバイル部会
- 17日(月) 地域ISP部会
- 18日(火) 運営委員会
- 19日(水) インターネットユーザー部会

1月

- 8日(火) 行政法律部会
- 9日(水) クラウド部会
- 16日(水) 臨時運営委員会
- 23日(水) 賀詞交歓会
- 24日(木) 地域ISP部会

役員一覧

名誉会長

渡辺 武経 株式会社ディー・エヌ・エー

会長

会田 容弘 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

副会長

佐々倉 秀一 NTTコミュニケーションズ株式会社
 西山 裕之 GMOインターネット株式会社
 立石 聡明 有限会社マンダラネット

専務理事

立石 聡明 有限会社マンダラネット

常任理事

秋山 卓司 クロスモバイル株式会社
 萩原 正也 ニフティ株式会社
 小畑 至弘 BizMobile株式会社
 鎌倉 忍 ディーシーエヌ株式会社
 久保 真 ビッグロブ株式会社
 晋山 孝善 ジェットインターネット株式会社
 竹綱 洋記 ソフトバンク株式会社
 田中 邦裕 さくらインターネット株式会社
 内藤 幹徳 KDDI株式会社
 永田 勝美 株式会社NTTぷらら

理事

家本 賢太郎 株式会社クララオンライン
 石田 卓也 株式会社イプリオ
 植田 裕之 株式会社ネットフォレスト
 高橋 美博 株式会社シナプス
 中野 雄一 株式会社エヌディエス
 野口 尚志 EditNet株式会社
 福智 道一 BBIX 株式会社
 横田 洋人 株式会社アットアイ
 渡辺 武経 株式会社ディー・エヌ・エー

監事

新堀 龍明 株式会社サンライズシステムズ
 竹内 常夫 虹ネット株式会社

(2018年6月13日現在)

会員一覧

■正会員 [152団体]

株式会社アイエフネット	イツ・コミュニケーションズ株式会社	株式会社NTTPCコミュニケーションズ
株式会社IMS	株式会社イプリオ	NTTビズリンク株式会社
株式会社アイキューブ・マーケティング	射水ケーブルネットワーク株式会社	株式会社NTTぷらら
株式会社IC-NET	株式会社インターネット尾張	エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社
株式会社IDCフロンティア	インターネット・フューチャー株式会社	株式会社エンボリック
AXLBIT株式会社	インターネット・プロ東海株式会社	オーシャンブロードバンド株式会社
アクロニス・ジャパン株式会社	株式会社インターリンク	株式会社大塚商会
株式会社朝日ネット	株式会社STNet	大槻電気通信株式会社
株式会社アットアイ	SBクラウド株式会社	株式会社オキット
株式会社アット東京	株式会社エディオン	カゴヤ・ジャパン株式会社
アミック株式会社	EditNet株式会社	関越ネットワークシステム株式会社
株式会社有明なっとこむ	株式会社エヌディエス	特定非営利活動法人きたうら花なっと
アルテリア・ネットワークス株式会社	株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	株式会社クオリティア
株式会社イーネット	NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社クララオンライン
イーブロードコミュニケーションズ株式会社	エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社	KROW株式会社
イエスネット株式会社	株式会社NTTドコモ	株式会社グローバルネットコア

会員一覧

株式会社クロストラスト	株式会社長野県協同電算	三井物産セキュアディレクション株式会社
クロスモバイル株式会社	那須インフォネット株式会社	ミテネインターネット株式会社
株式会社クロノス	株式会社NAX	株式会社ミライコミュニケーションネットワーク
KDDI株式会社	株式会社新潟通信サービス	株式会社武蔵野
株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ	株式会社西新宿ドットネット	メディアウェイブシステムズ株式会社
株式会社ケー・アイ・ピー	虹ネット株式会社	株式会社メディアブリッジ 東京支店
株式会社ケーシーエス	ニフティ株式会社	ライド株式会社
株式会社コアラ	日本・アルカディア・ネットワーク株式会社	楽天コミュニケーションズ株式会社
株式会社高知システムズ	日本情報システム株式会社	リコージャパン株式会社
コスモメディア株式会社	日本ネットワークイネイブラー株式会社	株式会社両毛インターネットデータセンター
彩ネット株式会社	株式会社日本レジストリサービス	Rebyc株式会社
さくらインターネット株式会社	株式会社ニューメディア徳島	ワークアップ株式会社
株式会社さくらケーシーエス	ネクストウェブ株式会社	
サンコー事務機株式会社	株式会社ネクストジェン	
株式会社サンメディア	株式会社ねこじゃらし	
株式会社サンライズシステムズ	株式会社ネスク	
株式会社シーエスファーム	株式会社ネットアイアールディー	
GMOインターネット株式会社	株式会社ネットフォレスト	
GMOクラウド株式会社	株式会社ハイネット	
ジェットインターネット株式会社	株式会社Hi-Bit	
株式会社Geolocation Technology	株式会社ハイホー	
株式会社シグマライン	パラレルス株式会社	
株式会社シナプス	株式会社ハローコミュニケーションズ	
セイコーソリューションズ株式会社	BBIX株式会社	
株式会社ゼクシス	株式会社光システム設計	
株式会社創風システム	BizMobile株式会社	
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	株式会社日立システムズ	
ソピアフォンス株式会社	株式会社ビックベースソリューションズ	
ソフトバンク株式会社	ビッグローブ株式会社	
ZOROK株式会社	株式会社ヒューメリア	
有限会社たけかわ企画	株式会社ファミリーネット・ジャパン	
合同会社 double A one	株式会社フィックスポイント	
ダンボネット・システムズ株式会社	株式会社フォーサイトウェブ	
中国聯通日本オペレーション株式会社	富士通クラウドテクノロジーズ株式会社	
株式会社ディー・エヌ・エー	株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート	
合同会社DMM.com	株式会社フューチャースピリッツ	
ディーシーエヌ株式会社	株式会社フューチャーネットワークス	
株式会社TCP	フリービット株式会社	
株式会社電算	ブロックスシステムデザイン株式会社	
103R株式会社	有限会社プロベル	
電通工業株式会社	株式会社北斗システムジャパン	
株式会社TOKAIコミュニケーションズ	HOYAサービス株式会社	
トナミ運輸株式会社	株式会社ホワイトサポート	
株式会社トリトン	株式会社マイメディア	
有限会社ナインレイヤーズ	松本商工会議所	
那賀町ケーブルテレビ	有限会社マンダラネット	

■賛助会員 [5団体]

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
サイバーソリューションズ株式会社
特定非営利活動法人日本テレマーケティング保護協会
日本ネットワークセキュリティ協会
一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

(団体名五十音順) 2018年12月10日現在

People, people

名誉会員の古閑です。主にモバイル部会と女性部会に出席しております。長いサラリーマン人生を卒業してから、自営業、自由人として生きることに早や2年です。

先日の女性部会主催「セカンドライフ講演会」では講師とシェフを務めさせていただきました。今回はその時の内容も踏まえて、いずれは自由人の仲間になる皆さまのために、楽しく生きるためのヒントをお伝えしましょう。

「仲間」、「地域」、そして「お金」

人生を楽しく過ごすために一番大事なのは、一緒に遊んでくれる仲間がいることです。テニスをするにもゴルフをするにも一緒に楽しんでくれる仲間がいなくてはいけませんよね。

そしてその仲間が自分の住む地域の比較的近くにいることも大切です。サラリーマン時代は、毎日都心に通っているのもそこで集うことができましたが、通勤をしなくてよくなると、住む地域に仲間がいることは結構重要です。

最後に仲間と一緒に楽しめるだけの、最低限の金銭的余裕は必要です。でも、みなさん、お金のことばかりを心配して、仲間づくりに時間をかけていないような気がします。ちょっと遊ぶ費用なんて、子供の教育費用に比べればたいしたことはないです。大企業に勤めている人は、50歳をすぎると研修を受けさせられて、定年後のフィナンシャルプランを立てさせられたりします。資金計画が作ることが主眼ですが、同時に自分が何を楽しく生きていこうとしているのかを是非織り込んでください。お金とヒマはあるけれど、趣味もない、仲間もないという、惨めな元エグゼクティブにならないように。やる事が無いから会社に通って老害をまき散らすのは最悪です。

では、私がどのように仲間を作ってきたかをちょっとお話しましょう。

スキューバダイビング

水中の世界にあこがれて40歳でスキューバダイビングを始めました。このおかげで人生観が変わりました。海の中では、人間はとても小さい存在です。魚たちが支配している世界に、空気なしでは生きられない生物がちょっとだけお邪魔させていただくわけです。人間世界でちょっとだけ成功したからといって尊大、傲慢になった人々をたくさん見てきましたが、この地球という星の微妙なバランスの中で、生きさせていただいているということを全身で感じるようになります。海の中で傲慢な態度をとれば、すぐにあの世行きですから。世界で出会ったダイバーはみんな謙虚です。そして仲間同士助け合います。

ダイビング旅行に行くとしても、なかなか一緒に潜りにいけるような仲間は見つかりません。そこで私は一人でツアーに参加してしまうことにしました。特にダイビングクルーズ船にのれば、一週間ぐらい十数人のダイバーと同じ船で24時間を共にすることになります。おのずからそこで仲間ができます。その後、Facebookでつながるようになります。Facebookとダイバーはとても相性がよいようです。

例えば、昨年に千葉で知り合ったダイバーを頼って、11月にエジプトの紅海で潜ってきました。Facebookでつながっていたので、憧れの紅海ダイビングが実現しました。5月にガラパゴスで一緒だったご夫婦に、8月には東洋のガラパゴスと言われる小笠原で偶然同じ船でお会いしました。

スキー

子供が大きくなってからは、年に一回日帰りで行く程度でした。それがJAIPAの仲間のおかげで、またアクティブになりました。数年前にJAIPAの集まりでJAISKIなるスキー合宿をすることになり、若い人々とスキーに行き、また目覚めました。スキーもウェアも新調して、イタリアとかユタとか、海外スキーを楽しんでいます。スキーに行くにも一緒に行ってくれる仲間が重要です。JAIPAの皆さん、これからもお付き合いをお願いします。

テニス

テニスは大学時代からのスポーツですが、地元の特ニスクラブでプレーするようになってかれこれ30年近くになります。長年のお付き合いの人たちなので、お互いに性格、技量を把握しているので気楽に遊べます。このテニスクラブの関係でバンドをやることになるとは思っていませんでした。

バンド

バンドは、16年前にテニスクラブのメンバがラケットをウクレレに替えてハワイアンを始めたのが最初で、私が参加してから10年になります。それ以来メンバも少しずつ入れ替わり、いつの間にか私がリーダー的存在になっています。参加当時は、ドラム担当がいなかったのも私がやることになり、おかげで楽器のレパートリーが増えました。その後、ボーカルをやりたくなり、今では作詞作曲をして自称シンガーソングライターとなりました。

普段は、地域のデイケアセンターなどでボランティア演奏をしています。このおかげで練習のためにセンターの部屋をお借りできるので、お金はかかりません。毎年一回続けてきたクリスマスライブは今年で16回目で、ますます盛況でした。

ゴルフ

仕事のお付き合いで50歳を過ぎて始めたスポーツです。JAIPA渡辺杯の言い出しっぺでもあり、年二回のJAIPAの仲間とのコンペが楽しみです。ゴルフも仲間がいなければ続けられないスポーツですので、毎回呼んでいただけるのは大変ありがたいです。仲間がまだ会社勤めが多いので、土日が多いでコスト高ですが、そのうちにみんな平日ゴルフを楽しめるようになるでしょう。

料理

エンジニアにぴったりの趣味が料理です。料理は資材選定から購買、基本設計から詳細設計、プロセス設計と品質管理をすべて自分でこなせる究極のエンジニアリングです。しかも、外食をせずに旨いものが毎日食べられるのですから、コスト削減と健康管理に役立ちます。昨年はJAIPAの仲間とRistorante Kosekiなる催しをさせていただき、今年11月の女性部会「セカンドライフ」講演会で、私のローストビーフを皆さんに食べていただきました。このような機会がなければ3Kgのローストビーフを作るなどという醍醐味は味わえません。



セカンドライフ講演会にて 女性部会長と

スポーツボランティア

2020年のオリパラに向けて、スポーツボランティアを始めています。英語を生かしながら楽しめることを探しているうちにたどり着きました。今年は八景島でのトライアスロン大会でのボランティアに参加させてもらい、新しく地域の新しい仲間ができつつあります。

英語観光ガイド

昨年、全国通訳案内士の資格をとったので、プロの外国人向け通訳ガイドとして、小遣い稼ぎをしています。欧米のリッチな観光客のためのプライベート英語ガイドとして東京を案内します。お金稼ぎというよりは、新たな交流を通して日本という国を海外の人に理解してもらえるように少しばかりお手伝いをしています。このビジネスが可能になったのもインターネットのサイトがあればこそです。

サイクリング

スポーツクラブ仲間の誘いで、イタリア製のカーボンロードバイクを買って、ポタリングを楽しんでいます。

おわりに

楽しく人生を送るには、仲間が大事だということを書きました。仲間なんてなくても生きていけるさ、退職してから何をするかを考えればいいさ、とか思っていますか。仲間は一朝一夕には出来ません。今は皆さん仕事で忙しいでしょうけれど、時間ができてから仲間づくりをするのでは遅すぎます。今から仲間づくりをすることをお勧めします。

名誉会員 古関 義幸

代々木に来て早1年。あれから1年、もう1年。いまだに定番のランチのお店が決まらず、あちこちフラついています。いまだに、フラついているということは、実は代々木にはランチできるお店がいっぱいあるらしいです。でも、フラついているということは、レポートしたいお店がなかなか見つからないともいふ…

あ、でも、1ヶ月に1回は必ず行くお店があるのです。美味しいよ、でも、定番ランチではない。安いしコスバもよいよ、でも、行きつけのお店とは言いづらい。だって、月に1回しか行ってない。それに、いつも混んでいる。ならばなぜに行くかという、ここにひとつの罠がありまして。お勘定の時にもらうクーポン券。期間は翌月の末日まで。そうなのです。「やば、クーポン券切れるよ」の合言葉で、ついつい毎月通ってます。クーポン最強説！

あ、でもでも、他店でもクーポン券はもらっているとこもある。なのに何故通わない… あ、そか！期限がないからだな、きっと。…多分

そんなこんなでクーポンやらスタンプやらの類がたまっていくわけです。お店に入ってスタンプをみつけると、ランチ用財布の中からとりあえず探す。やはり、作った記憶がなくともスタンプを持っていたりする今日この頃。食べ物の恨みは忘れない、とは言うものの、どうやら食に関する記憶があやふやになってきているようだ。時の流れとは残酷なものである。(T)

JAIPA Express Vol.50

2019年1月20日 初版第1刷発行

発行所 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F
TEL:03-5304-7511 FAX:03-3379-5530
URL:<http://www.jaipa.or.jp/> E-mail:info@jaipa.or.jp

印刷 フジサービス株式会社
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8



■本書の内容に関するご質問は、E-mailにてお問合せください。
■本書掲載記事の無断掲載・放送は堅くお断りいたします。
■乱丁・落丁本がございましたらお取り替えいたします。

©2019 Japan Internet Providers Association